※令和３年度以前入学生用

学校番号	４１６

令和５年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「新詳地理Ｂ」（帝国書院） 「標準高等地図－地図でよむ現代社会－」（帝国書院）						
副教材等	プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の世界の地理的事象を系統的に学習する。歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、国際社会を生きる力を身に付ける。

2　学習の到達目標

環境や文化の違う地域を系統的な学習を通じて理解し、地理的な見方や考え方を体得し、国際社会で主体的に生きていく力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界を地理的に認識することについて、関心と課題意識を高め、それを意識的に追求する態度を身につける努力をしている。	現代世界を地理的に認識することについて、そこから課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、その過程や判断した結果を適切に表現している。	現代世界を地理的に認識するために、諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択、活用することを通して、読み取ることや、まとめる技能を身につけている。	現代世界を地理的に認識することについて、系統地理学的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	課題への取り組み状況 授業プリント等の提出状況	定期考査の問題 レポート課題 プレゼンテーション評価	レポート課題 プレゼンテーション資料	定期考査の問題 授業内確認テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

※令和３年度以前入学生用

1学期	さまざまな地図と地理的技能	・地図の発達 ・地図の種類とその利用 ・地理情報の地図化 ・地図の活用 ・身近な地域の調査	○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:地図の種類やその活用について、地図を意欲的に活用することで、地理への関心を高めようとしている。 b:地図やその活用について、そこから課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、その過程や判断した結果を適切に表現している。 c:地図や諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択、活用することを通して、読み取ることや、まとめる技能を身につけている。 d: 地図や諸資料を活用し、系統地理学的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	課題への取り組み状況 授業プリント等の提出状況 各授業の問いへの回答 レポート 確認テスト 定期考査
1学期～2学期	現代世界の系統地理的考察	自然環境、資源と産業 ・世界の地形 ・世界の気候 ・日本の自然の特徴と人々の生活 ・環境問題 ・世界の農林水産業 ・食料問題 ・世界のエネルギー・鉱産資源 ・資源・エネルギー問題 ・世界の工業 ・第3次産業 ・世界を結ぶ交通・通信 ・現代世界の貿易と経済圏	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:世界、日本の特徴について、その特徴などから共通性・課題などを見い出し、意欲的に追求しようとしている。 b:世界、日本の特徴について、そこから課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、その過程や判断した結果を適切に表現している。 c:世界、日本の特徴について、諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択、活用することを通して、読み取ることや、まとめる技能を身につけている。 d:世界、日本の特徴について、系統地理学的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	課題への取り組み状況 授業プリント等の提出状況 各授業の問いへの回答 レポート 確認テスト 定期考査

※令和３年度以前入学生用

2学期	現代世界の系統地理的考察②	人口、村落・都市、生活文化、民族・宗教 ・世界の人口 ・人口問題 ・村落と都市 ・都市・居住問題 ・世界の衣食住 ・民族と宗教 ・現代世界の国家 ・民族・領土問題	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:世界、日本の特徴について、その特徴などから共通性・課題などを見い出し、意欲的に追求しようとしている。 b:世界、日本の特徴について、そこから課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、その過程や判断した結果を適切に表現している。 c:世界、日本の特徴について、諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択、活用することを通して、読み取ることや、まとめる技能を身につけている。 d:世界、日本の特徴について、系統地理学的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	課題への取り組み状況 授業プリント等の提出状況 各授業の問いへの回答 レポート プレゼンテーション 確認テスト 定期考査
2～3学期	現代世界の地誌的考察	・地域区分とは何か ・地域の考察方法 ・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央アジア ・北アフリカとサハラ以南のアフリカ	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:地域区分とそれぞれの地域について、その特徴などから共通性・課題などを見い出し、意欲的に追求しようとしている。 b:地域区分とそれぞれの地域について、そこから課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、その過程や判断した結果を適切に表現している。 c:地域区分とそれぞれの地域について、諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択、活用することを通して、読み取ることや、まとめる技能を身につけている。 d:地域区分とそれぞれの地域について、系統地理学的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	課題への取り組み状況 授業プリント等の提出状況 各授業の問いへの回答 レポート 確認テスト 定期考査

※令和３年度以前入学生用

3学期	現代世界の地誌的考察②	・ヨーロッパ ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア	○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a:地域区分とそれぞれの地域について、その特徴などから共通性・相違性から課題などを見い出し、意欲的に追求しようとしている。 b:地域区分とそれぞれの地域について、そこから課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、その過程や判断した結果を適切に表現している。 c:地域区分とそれぞれの地域について、諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択、活用することを通して、読み取ることや、まとめる技能を身につけている。 d:地域区分とそれぞれの地域について、系統地理学的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	課題への取り組み状況 授業プリント等の提出状況 各授業の問いへの回答 レポート 確認テスト 定期考査
	現代世界と日本	・日本が抱える地理的な諸問題 ・日本の抱える課題の追求	○ ○	○ ○		○ ○	a:現代世界における日本について、関心をもち、さまざまな課題を見い出し、意欲的に解決する手立てを追求している。 b:現代世界における日本について、そこから課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、その過程や判断した結果を適切に表現している。 c:現代世界における日本について、諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択、活用することを通して、読み取ることや、まとめる技能を身につけている。 d:現代世界における日本地について、系統地理学的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	課題への取り組み状況 授業プリント等の提出状況 各授業の問いへの回答 レポート プレゼンテーション 確認テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）

※令和３年度以前入学生用

の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。